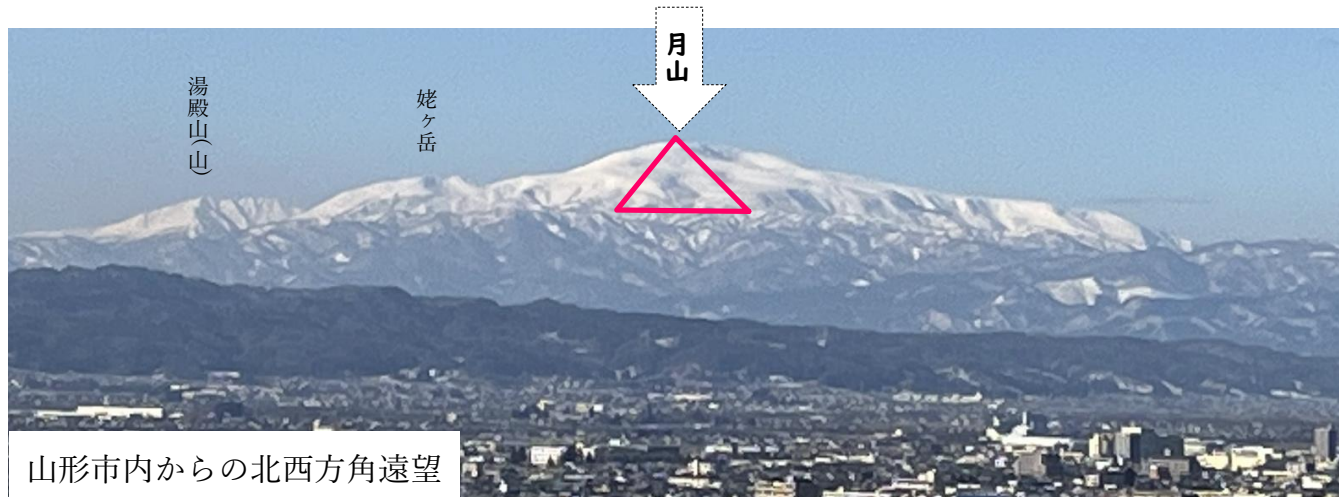




(月山東南エリア 西川町口 大ロマン古里)
「高・清フレンドリー古道」域 案内マップ



怪しげな！何か始まる一夜宿
 日陰の向日葵 清川道



高・清は昔が匂う謎の道
 遊び・学びの

ごちゃ混ぜ時空

☆ 今に届いた『問い』のタイムカプセル

「温故知新」行

スタディ・フィールド再築ものがたり ☆

わが国の巡礼文化においては、古くから「西の伊勢参り、東の奥参り」と称されてきた。後者の「奥」とは奥羽、すなわち出羽三山（羽黒山・月山・湯殿山）を指し、これらの霊峰は、信仰の対象として多くの参詣者を引き寄せてきた。

とりわけ伊勢参りは、「一生に一度は伊勢参り」として広く知られている。

それならば、本域「高・清フレンドリー古道」の宗教的価値、ならびに観光資源としての魅力に鑑み、ここに一つの言葉を掲げたい。

「高清（たか・きよ）に 一生一度 神参り」

本域を端的に表現すれば、

神秘的で不思議な（謎の）史跡（石造文化財）の集散地

天神地祇・十方三世諸仏が響き合う共演の舞台

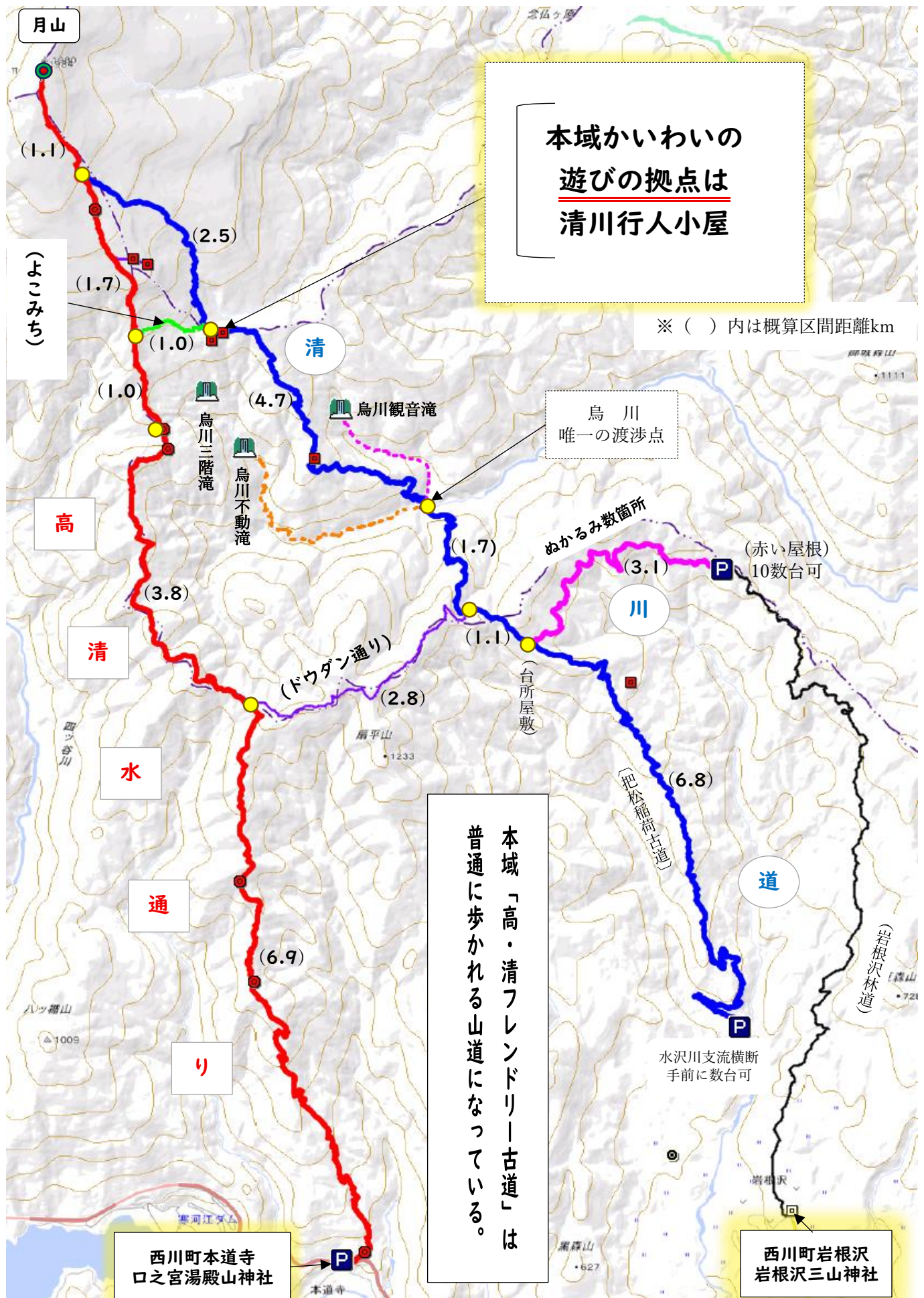
哀愁・旅情・郷愁――

ロマンとノスタルジアを直観する霊地である。

姿・生き様 異なれど 祈りは一つ

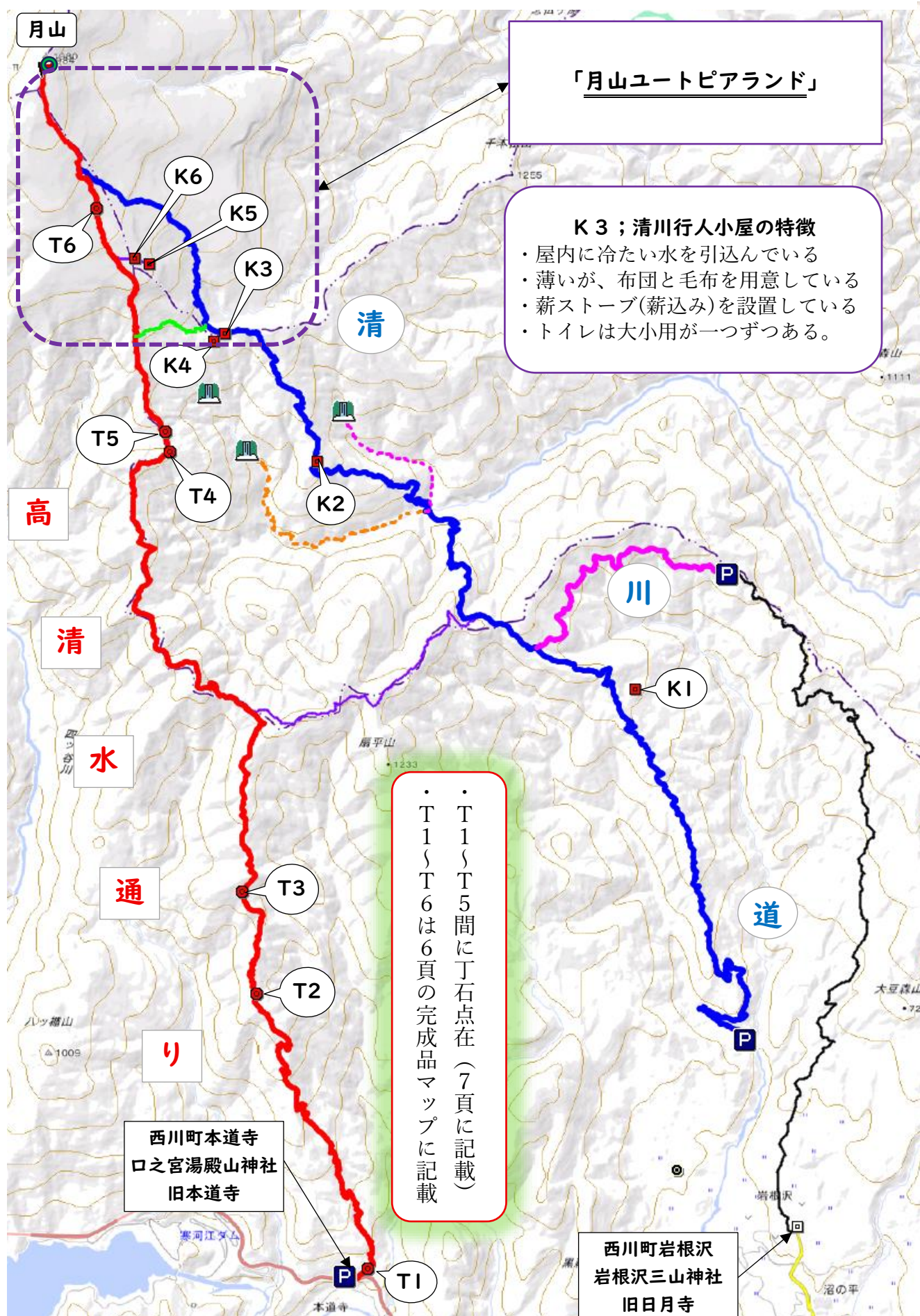
“どうか、ここに参らっしえ。”

〔月山まで頑張る（健脚者）ロングコース〕



「高・清フレンドリー古道」域内史跡位置

〔ランドマーク／ミステリアス・スポット〕設定箇所



「清川道」沿いの史跡とランドマーク（K1～K3）

K1；把松稲荷神社



K2；不動明王（カンマン）碑と墓石



（此の地にて死す）

K3；清川行人小屋前石碑群

（女性戒名墓石複数有り）
西面



（女性戒名墓石複数有り）
南面



「月山登山案内」より引用
昔の清川行人小屋



下の二つは、何か寄進奉納事業由来の
神事斎行の証か？



神心講

浅沓二つ

水瓶

〔台座〕三方に四十
九名の寄進者名刻字

同小屋前の『弘法大師』像／これは姥・奪衣婆ではない

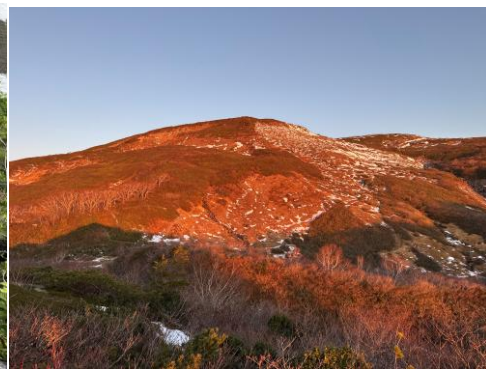
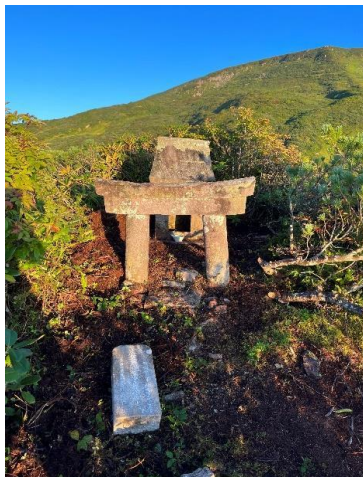


〔銅板〕
奉納

昭和十年三月吉日
西村山郡岩根澤
社守 古澤栄二郎

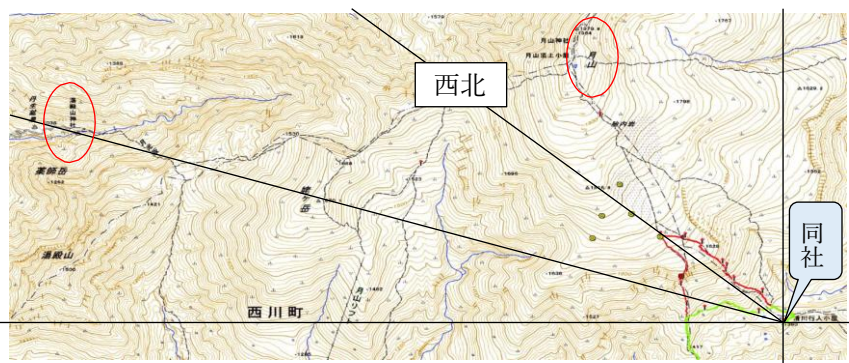
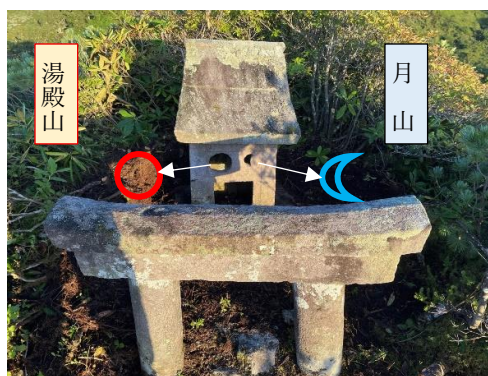
「清川道」沿いの史跡とランドマーク（K4～K6）

K4；清川 御所王子社（五所皇子稻荷神社）



寸詰まりの鳥居

同社から見た朝焼けの月山(手盡坂)



額づいて拝むと、霊所の地理的位置と整合

同社から見た湯殿山と月山の方角



于時 嘉永五年（1852）壬子歳八月□□



湯殿山 清川御所王子社
正一位 稻荷大明神籠堂
建立 発願主 荒木源兵衛拜碑

左面 [清川小屋前の石塔に同社建立の趣意刻字] 右面

K5；来名戸神



(発見時)

地藏菩薩像と女性戒名墓石



K6；「月山 湯殿山」追分碑



左 湯殿山 牛首
山先達 福宣 長慶坊
右 月山 羽黒山
彌作
ふくしま 小嵩町

〔T-FMO 製作済の「高清水通り」案内マップ〕－完成品

[迎えてくれる花たち]



日本遺産 出羽三山
月山・湯殿山 参詣道 **本道寺口**

出羽三山には、八方七口と云われて来た登拝するための登り口があって、かつてはそれぞれの所に寺院や宿坊街があり、宗教集落・宿坊町を形成しておりました。この「高清水通り」は、そのうちの一つであり空海が開基した旧月光山本道寺（現口之宮湯殿山神社）からの参詣登拝道であります。

近年、「大黒森プロジェクト」の活動等を通じ、本通りにも関心が高まり、道標の設置や丁石（里程標）の調査など道普請（保全・整備）に取り組み、さらなる魅力づくりを進めております。

ありふれた景観ではありますが、特有の靈氣漂う聖地・丁石が点在しています。安全に十分留意され、素晴らしい古道トレッキングをお楽しみ下さい。

<丁石を探そう！>

起点記念碑から“元高清水”まで96体の丁石を安置したことが判明した。令和4年11月末現在、30体の現存を確認したものの66体は未確認である。

200年の時を経て探して欲しいと待っている！

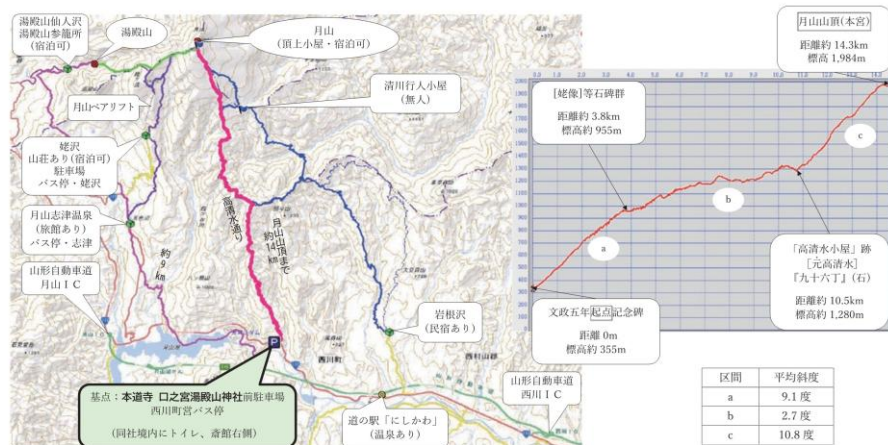
高清水通り案内マップ

この参詣道は 御山行者の掬り処
よろずの神仏が塔となり 五大に宿

折々の季節 あなたを 神秘と
不思議の世界に誘う



【 月山・湯殿山往来－アクセスエリア 】



- | | |
|---|---|
| <p>(※1) 月山山頂小屋は期間営業</p> <p>(※2) 湯殿山往來は、高速バスと庄内交通送迎バスの組合せで期間運行</p> <p>(※3) 姥沢行きの西川町路線バスは期間運行</p> | <p>(※4) 月山ベアリフトの運行は4月から10月までの期間運行</p> <p>(※5) 志津温泉行きのバスは夏季と冬の運行時刻が変更</p> <p>(※6) 季節や社会情勢を踏まえた対応となることから事前に確認すること</p> |
|---|---|

編集／「大黒森プロジェクト」高清水通り調査隊

発行／本道寺地区会（令和4年度西川町地域づくり活動補助事業）

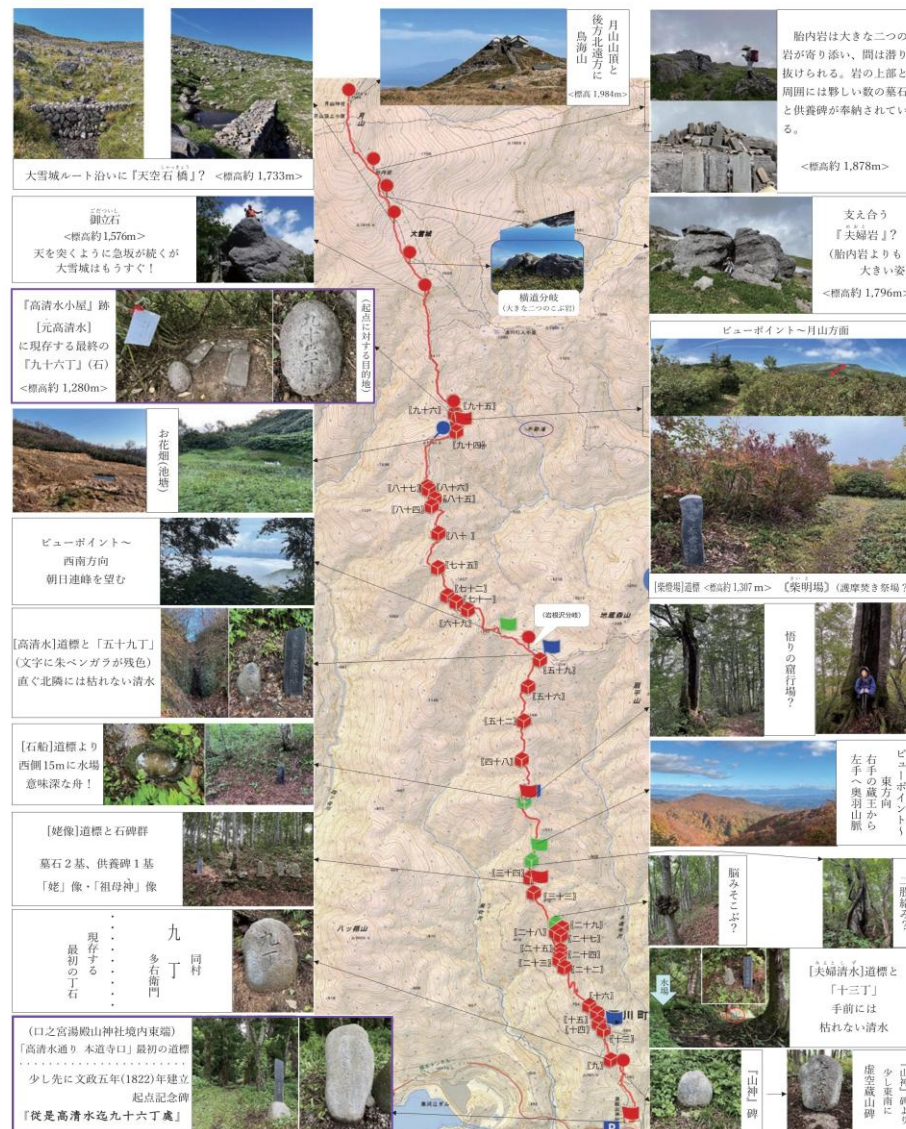
TEL・FAX:0237-75-2001 メール:hondouji@i-next.ne.jp

[2023(令和5)年3月]

月山・湯殿山 参詣道

「高清水通り」コース案内

本道寺口



(注記) 国土地理院地形図を使用しているが、「カシミール3Dスーパー地形セット」(開発者DAN杉本氏)ソフトで記録したもの。

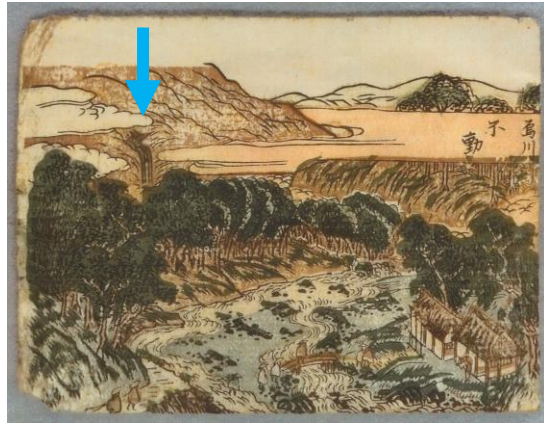
「高清水通り〔T1～T5間〕」に現存（点在）する丁石30体／（96体中）

66体は不明！（埋まっている可能性大）

2026（令和8）年7月末現在／（前頁マップには全数未掲載）



烏川不動滝（不動尊）



皆川義川の版画絵「烏川 不動」



2008(H20)/09/07 (佐藤辰彦氏撮影)

布施昭太郎氏より提供



2023(R5)/11/01 (大沼撮影)

この滝の上が不動滝

2023(R5)/11/09 (大沼撮影)

不動滝を上部から望む



山遊び、撮影、山菜・キノコ採り、溪流釣り、沢登りの楽しみの拠点は 「清川行人小屋」(利用協力費1千円/人)

・昭和30年6月4日、高松宮殿下が岩根沢から登られ、夏山スキーを楽しまれたが、その前年昭和29年に同小屋は、今の状態へ大規模改修(建替え)されたとされる。

・西川町公共施設の指定管理者の指定を受けた清川仙人会が管理している。

・2階建無人小屋は年間開放であるが、冬期間の凍結防止のため、晩秋には屋内への通水を止め、外へ放水している。



薪ストーブ



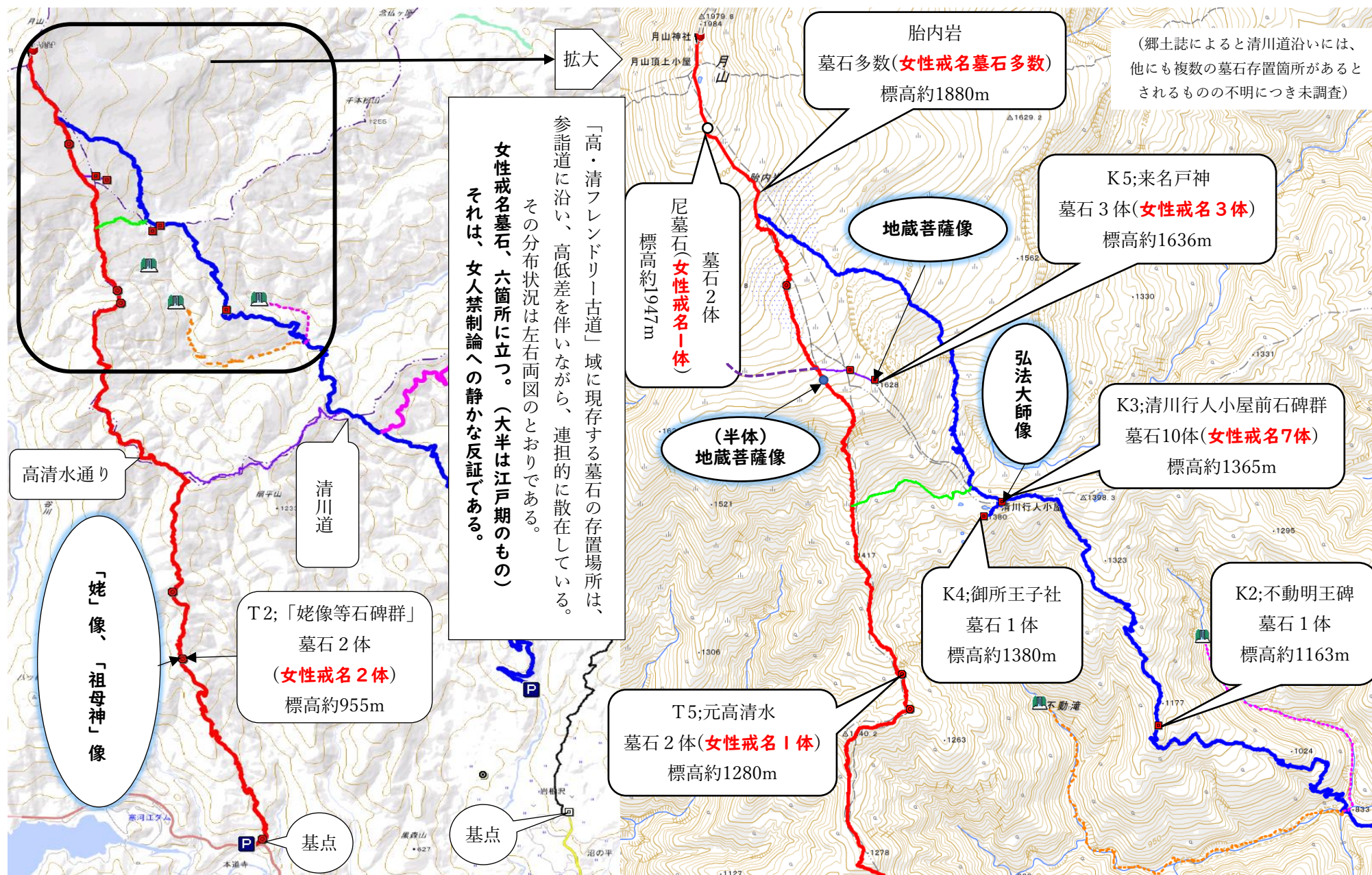
登山者・宿泊者をお守りするお札



小屋引込み水源地修繕工事 2025(R7)/08/03

「高・清フレンドリー古道」域内の墓石と石像のみ

— 記載墓石の大半は明治の神仏分離以前に、それも他県の人達が安置したもので、その中には女性戒名墓石も多数ある —

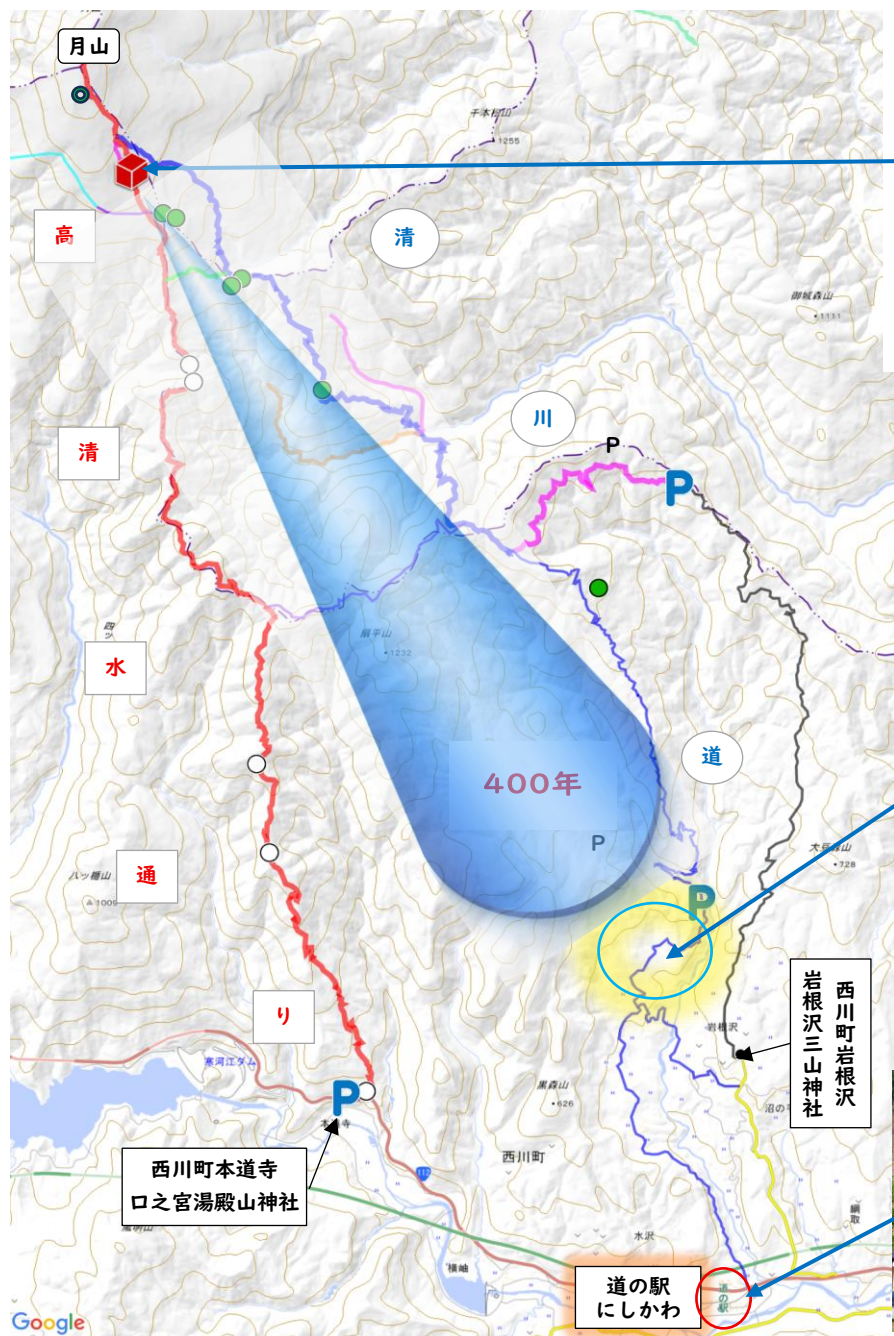


400年ロマン にしかわ名水の古里

(月山水源聖地／浸透域)

「高・清フレンドリー古道」域内

月山大雪城 [天空石橋]



ChatGPT

道の駅にしかわ



2025（令和7）年の登山道整備の事例

自然の猛威は容赦なく、「高・清」登山道を痛め付ける！／例年、この闘い！



登山道整備に備え、用具を要所に置いた例

「高・清フレンドリー古道」楽しみ方のありし日

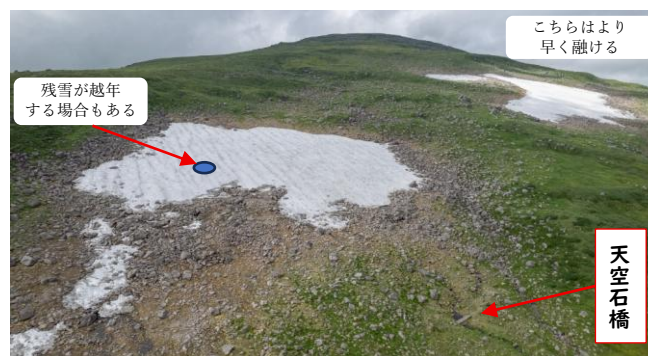
菅野大志西川町長登山視察同行

2025(R7)/08/02〜03



窪田望氏ドローン撮影クルー

2025(R7)/08/23



ここが「大雪城」帯域



天空石橋で月山自然水と月山ビールを『グイッ』

第1回目MAR塾

2025(R7)/09/15〜16



後方が清川行人小屋



本件関連情報の公開を具体化するため、〔T・K-Friends & T-FMO〕事務局担当の大沼香（著者）が、その自発的責務から個人ホームページ（URL：<https://www.dreamyok.com/>）内に専用サイトを開設し、関連資料および調査報告書のすべてを公開しています。上記URLまたはQRコードからアクセスできます。



本案内マップ、上記の著者ホームページ、その他の調査報告書・レポートに掲載されている文章、画像、図柄、イラスト、写真、動画等のうち、特記のあるものを除き、著作権は著者に帰属します。

とりわけ、それらの画像、図柄、イラスト、写真、動画等について、販売を目的とした書籍（定価本／奥書等に価格が明記された販売書籍）へ転用・引用・転載・複製することは、出典を明記した場合でも厳禁とします。

販売を目的とする書籍への利用を除き、次の三条件をすべて満たす場合に限り、個人利用、研究・学習、知人・友人との共有、SNS等における引用・共有・再利用・拡散を認め、積極的な共有・拡散を歓迎します。

- ①非営利目的であること
- ②悪意ある利用でないこと
- ③本案内マップまたは著者ホームページを出典として明記すること

また、これらの目的に沿った保存についても認めるものとします。なお、第三者の著作権・肖像権等を侵害する意図はありません。問題がございましたら、お問い合わせフォームまたは著者へご連絡ください。

前段の「厳禁」は、著者の著作を囲い込み、独占する意図によるものではありません。問題としているのは、著者やT-FMOの一部関係者による論評を転記・転写・転載したうえで、現地に足を運ばず机上の解釈や展開を重ね、批判の材料とし、営利や金銭的利益に結び付ける行為です。そのようなあり方には、強い違和感と憤りを覚えます。

私たちの調査報告や考察に疑義を抱かれる場合、本域の史跡について人前で語る際には、机上の理論や観念、既成概念や既存書籍、他者が撮影した写真などにのみ依拠せず、ぜひご自身の足で現地に立ち、肉眼で確かめ、周囲の環境と合わせて考察していただきたいと願っています。

私たち自身がこの方法を取り、調査と検証を積み重ねてきた（そして今も続けている）からです。

「文責」／大 沼 香

本域およびそこに所在する史跡について、あらためて強調し、明記しておくべき点がある。

問題の核心は、本域が尋常ならざる自然環境下にあるという一点に尽きる。

前掲の史跡、すなわち文化財的価値を有する石造物は、人々の生活圏である平場や麓に所在するものではない。人里から遠く隔絶された、標高が高く、奥深く、なおかつ雪深い山中に残されている。そこは、極めて過酷な自然環境そのものであり、容易に人が近づける場所ではない。現地に赴くには、相応の覚悟と装備を要する。

しかも、その大半は、江戸時代に山形県外の人々によって寄進奉納されたものである。古来、参詣者の篤い信仰心の発露として、この険しい山中まで運搬され、建立されたのである。

さらに、これらの史跡は一地点に集中しているのではない。本域全体を貫く参詣古道沿いに連なりながら、適度な間隔を置いて散在している。

かかる史跡群は、既存の書籍等に体系的に記録されてきたものではない。これらは、T-FMOが2022（令和4）年以降、T・K-Friendsが2023（令和5）年以降、現地踏査、藪払い、泥や苔の除去、刻銘の確認等を重ね、まさに「発見」と呼ぶに足る行動によって、一つひとつ掘り起こしてきたものである。

それらは、単なる山中の石造物ではない。過酷な自然環境の中に建立され、長い歳月を越えて残されてきた、往時の参詣者による信仰実践を今に伝える極めて貴重な存在である。

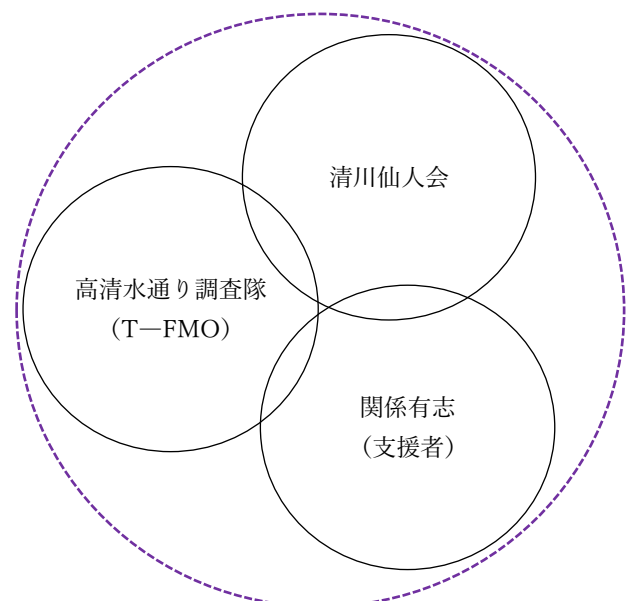
大半の石造物が所在する本域は、確かに西川町管内に属する。

だからこそ、本域は、万全の準備を整えてでも赴き、その価値を自ら確かめ、後世へ継承すべき場所なのである。

T・K-Friendsの構成イメージは右図のとおりで、“清川仙人会・高清水通り調査隊・関係有志（支援者）”という、それぞれ独立した自律性を持つ主体どうしを緩やかにつなぎ、相互の活動を支える「自律性共助ネットワーク」である。

本団体は任意有志団体であり、次の点を基本姿勢としている。

- ✓ 指示命令概念（強制）相当の義務的業務を課すことはない。
- ✓ 関係者・関係団体に対する統括統制の権能（権利・権限）を持たない。
- ✓ 関係者・関係団体の相互連携体制を陰で支える黒子的役割を担う。



令和8年度 西川町まちづくり団体活動補助金事業

企画・監修

T・K-Friends & T-FMO

メンバー

共同代表 片倉 忠幸／清川仙人会会長 (連絡先 090-1067-4225) 宮林 良幸／T-FMO (連絡先 090-2790-9222) 事務局〔執筆・編集〕 大沼 香／T-FMO (連絡先 080-3338-3738)	荒木 忠志	(順不同／敬称略)
	岩本 寿一	
	布施 範行	
	阿部 剛士	
	木島 優太	
	渡辺 桂太	
	土田 大空	
	伊藤 康志	
	秋場 徹	
	木村 義宏	
	高橋 昌一	
14名	一般会員の所属等は省略	

印刷所

株式会社 若月印刷

〒991-0065 山形県寒河江市 大字中郷千本原1787

2026（令和8）年8月7日 制作